

## 令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森第六中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・地理的分野、歴史的分野ともに、復習のための小テストや、家庭学習を定着させるためのノート作りや復習確認用のミニワークを導入したことにより、基礎学力を高めることができた。またICTの効率的な活用により、授業中に感じた疑問やより深い学びに関する主体的な取り組みを行う生徒も増えてきた。
- ・グループワークを多く取り入れ、教え合いや資料の選択、より相手を説得するためにどのような手法をとればよいのかといった学習を多く取り入れた結果、多面的多角的な思考ができるようになった。また記述に関する問題にも苦手意識が減って自分の考えを説明できるようになった。
- ・社会的事象について興味・関心を高めるため、新聞を活用した授業やニュースに対して持論を展開する「ニュースカード」を週に1回導入した結果、現在起こっている社会情勢やSDGsの重要性に対する意識が高まった。

#### (2) 課題

- ・全体的に知識・技能の点では、目標値に達しているが、第1学年では歴史的分野、第2学年では地理的分野について、資料に基づいた分析する力に課題をみることができる。今後、資料を活用した演習や立地条件に基づいた産業の発展の原因を探る学習などを通じて読み取る力の定着をはかっていきたい。また第3学年では歴史的分野における知識技能において、課題が見受けられるので、基礎力などの見直しを行っていきたい。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値より上回り特に活用に関して大きく上回った。	/	/
第2学年	目標値より基礎は上回っていたが、基礎は若干下回った。歴史分野では目標値を上回った。	目標値より、基礎・活用共に上回っていた。特に活用に関しては大きく上回っていた。	/
第3学年	目標値より基礎は目標値に近い状態だったが、活用に関しては目標より上回り、記述においては大きく上回った。	目標値より、基礎は目標値に近い状態だったが、活用に関しては下回っていた。また歴史分野は目標値よりやや上回っていたが、地理分野は下回っていた。	目標値より、基礎・活用共上回っていた。特に活用に関しては大きく上回っていた。

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値とほぼ同じであった。	目標値を下回っている。	目標値を下回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より上回った。	目標値より上回った。前年度より大きく上回った。	目標値より若干下回ったが、前年度よりは上回った。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値よりおおむね上回っていた。	目標値より大きく上回っていた。特に記述問題の項目が高かった。	目標値を大きく上回っていた。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
興味関心を高めるために、学習テーマに関する良い資料を探し、ICT を効果的に活用しながら授業を進める。歴史・地理の関連を意識しながら振り返る時間を授業内に取り入れる。	グラフや地図など、複数の資料から特徴をつかみ、それを文章に的確に書く作業を取り入れていく。SDGs に関連付けながら意見文を書いたり、プレゼンテーションを行い、ESD で必要な力を高めていく。	話し合い活動や調べ学習、発表などの授業形態を取り入れ、興味関心を高めていく。さまざまな社会の動きに目を向け、関心を高めるため、ニュースや新聞を授業に取り入れていく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テストや家庭学習のノートづくりを継続的に実施し、基礎的な知識の定着をはかっていく。歴史と地理を関連づけながら、公民的資質の育成に心がける。歴史的分野では明日香、平安の時代について忘れていたことが多いため、3年生になる前に復習する時間を設定する。	資料の分析や複数の資料から読み取ることができる共通点を見つけ出す協働作業を取り入れていく。社会で起こっている出来事について意見文を書いたり発表したりする。教室に配布される新聞などを利用し、社会の出来事に関し考える授業を実践する。	調べる、まとめる、発表する授業形態を実践する。話し合い活動やプレゼンテーションを通じて、当事者意識の育成に努め、自らの考えを発信できる力を身につけるようにしていく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
既習知識である地理や歴史と関連させながら、公民的な抽象概念の学習を進めていく。学習の際、現代社会で起こっている事象を参考にしながら、当事者意識を高め、公民的資質の育成に努める。	さまざまな現代社会にある課題を多くの資料を活用して、多面的多角的な視点から思考を深める学習を進める。	話し合い学習やプレゼンテーションを通じて、社会を支える公民としての当事者意識を高め、多種多様な人々の協力を視野に入れながらよりよい社会を構築に参画できる力を育成する。